

建設業 総合補償制度

第三者賠償補償 工事補償



当制度の支払実績

<第三者賠償>

工事種類	事故概要	支払保険金
道路工事	埋設してあったヒューム管を破損させた。	約1,040万円
その他の工事	宅地開発工事において隣接する家屋に地盤沈下で損害を与えた。	約800万円

<工事補償>

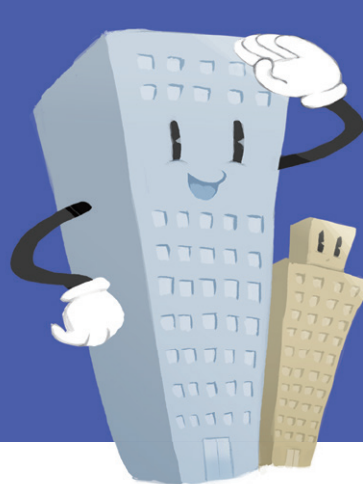
工事種類	事故概要	支払保険金
道路工事	林道の開設工事において法面が崩落した。	約1,620万円
河川工事	河川改修工事中、台風による大雨で洪水となり護岸部分が流出した。	約1,750万円

加入者の声

加入前までは、1件1件の手続きが面倒だったが、年間契約のため、手続きも不要で掛け忘れの心配もなくなりました。

第三者賠償保険全体を見直し、建設業総合補償制度の加入により大幅な保険料削減につながった。

基本補償に借用・支給財物損壊補償が含まれているので、リース・レンタルしたクレーン車や発注者から支給された資材を安心して使えた。



令和4年度版

建設業 総合補償制度

一般社団法人 東京建設業協会
会員の皆様へ

本制度4つの特徴

1. 幅広いリスクをまとめて補償

第三者賠償補償・・・○工事中、工事完成引渡後のリスクをまとめて補償
○レンタル建機等の借用・支給財物の滅失・破損・汚損・盗取による損害賠償責任も補償

工事補償・・・・・・・○台風・洪水等の不測かつ突発的な事故による工事対象物の損害を補償

2. 魅力的なオプション

第三者賠償補償・・・○地盤崩壊危険補償特約(標準orワイドorワイドプラス)
地盤崩壊に起因する損害賠償を補償

○使用者賠償責任補償特約
労災事故における高額な賠償金に備える
使用者賠償にご加入可能

○対物超過費用補償特約
対物事故発生時の復旧費が時価額を
超過してしまった場合の事故解決費用を補償

工事補償・・・・・・・○建設用工作車補償特約
工事現場における自社所有建機等の損害を補償



3. 保険料が割安! しかも全額損金処理OK

○会員向けに開発した補償制度で、スケールメリットにより個別にご加入いただくより保険料が割安!
完成工事高1億円あたり

第三者賠償補償・・・111,390円

工事補償・・・・・・・土木工事 234,000円 建築工事 57,000円 組立工事 114,000円

※オプション特約セット無。試算条件詳細は裏面をご確認ください。

4. 加入手続きが簡単

○保険期間中の工事をまとめて補償(年間包括方式)
加入もれの心配なし!

○必要な書類も、経審の書類なので、ラクラク

このチラシは保険の特徴を説明したものです。詳細はパンフレットをご覧ください。



制度募集代理店
株式会社 新都心エージェンシー 03-3345-7682

制度運営団体
一般社団法人 東京建設業協会 03-3552-5656

制度幹事代理店
株式会社 建設産業振興センター 03-5408-1909

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社 公務第一部 営業第二課

03-3259-6681

I. 第三者賠償補償制度

(請負業者賠償責任保険、生産物賠償責任保険施設所有(管理)者賠償責任保険、昇降機賠償責任保険の団体契約)

1. 幅広い補償

工事中はもちろん、工事完成引渡後のリスクもまとめて補償！
業者・発注者の責任割合を問わず、実際に発生した被害について補償されるので安心です。

工事中の賠償事故	工事完成引渡後の賠償事故	その他
請負賠償責任 工事遂行中に発生した第三者への賠償事故 	生産物賠償責任 工事完成物件の欠陥に起因して発生した第三者への賠償事故 	施設賠償責任 加入者の事務所・常設資材置き場等の管理・運営不備により発生した第三者への賠償事故 
借用・支給財物損壊補償 他人(リース業者など)から借りた建機などもしくは発注者から支給されたものなどが、作業中又は保管中に滅失・破損もしくは汚損したこと、または盗取されたことによる賠償 	昇降機賠償責任 加入者が所有・使用または管理する昇降機の運行・管理不備等により発生した第三者への賠償事故 	
管理財物損壊補償 工事のため管理、占有している他人の財物を滅失・破損・汚損もしくは紛失したこと、または盗取されたことによる賠償 	幅広い補償について！ 保険料 完成工事高1億円の場合※ 111,390円! ※試算条件 支払限度額が身体賠償1名1億円・1事故3億円、財物賠償1事故1億円の場合	

ほかにこんな補償もセットです。

- 人格権侵害・広告宣伝活動による権利侵害補償
- 使用不能損害拡張補償
- 訴訟対応費用
- 初期対応費用
- 被害者治療費等
- 工事遅延損害

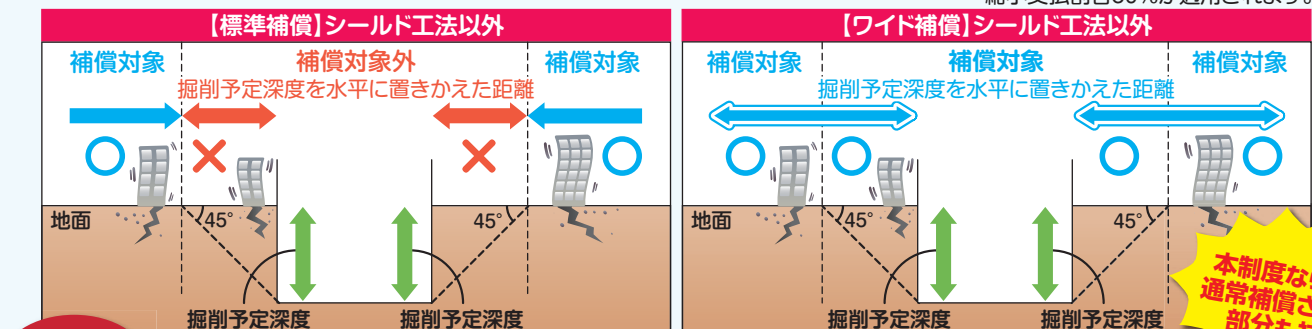
標準付帯！レンタル建機の破損等に加え、盗取も補償！

2. 魅力的なオプション

オプション① 地盤崩壊危険補償特約

地盤崩壊に起因する損害賠償責任も補償！

*ワイド補償により新たに支払対象となる部分には、縮小支払割合50%が適用されます。



オプション保険料 完成工事高1億円の場合※ **【標準補償】 39,000円! 【ワイド補償】 58,000円!**

※試算条件 財物賠償の支払限度額:1事故・保険期間中通算1,000万円
シールド工法の場合については、パンフレットをご参照ください。

【ワイドプラス補償】

ワイド補償と同じ補償範囲で縮小支払割合の適用がありません。

支払限度額を上限に **損害額の100%をお支払い** (注) **75,000円!**

(注) 縮小支払割合の適用はありませんが、免責金額が適用されますので、5万円は自己負担となります。

オプション② 使用者賠償責任補償特約

業務上のケガ・過労死・過労自殺など、労災事故における高額な賠償金への備えに！

被用者や下請負人等の労働災害の賠償責任への備えとして、

業務上のケガ 建物解体工事の鉄骨廃材を降ろす作業中に、作業員が2階から転落。脊椎を損傷、両下肢完全麻痺となった。 ▶安全配慮義務違反により、使用者に 約8,000万円 の賠償命令 	過労死・過労自殺 土木建築業の男性社員が脳梗塞で死亡。 ▶会社側に、注意義務を怠ったとして、 4,400万円 の賠償命令 
--	---

オプション保険料 完成工事高1億円の場合※ **23,780円!**

※試算条件 支払限度額:1億円、共済制度:4,000万円プランにご加入、主業務:土木

オプション③ 対物超過費用補償特約

対物事故発生時の復旧費が時価額を超えてしまった場合に、事故解決に要した費用を補償します。

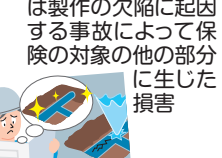
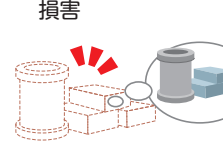
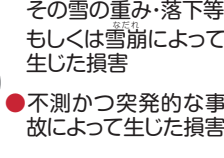
II. 工事補償制度

(土木工事保険、建設工事保険、組立保険)

1. 幅広い補償

台風・洪水等、工事中の不測かつ突発的な事故による工事対象物の損害をまとめて補償！

<保険金をお支払する主な事例>

● 火災、爆発によって生じた損害 	● 暴風、高潮、洪水、集中豪雨、内水氾濫、落雷等の自然現象によって生じた損害 	● 土砂崩れ等によって生じた損害 	● 労働者、従業員の取扱上の拙劣・過失または第三者の悪意によって生じた損害 	● 設計、施工、材質または製作の欠陥に起因する事故によって保険の対象の他の部分に生じた損害 
● 航空機の落下、車両・船舶等の衝突によって生じた損害 	● 盗難によって生じた損害 	● 豪雪の場合におけるその雪の重み・落下等もしくは雪崩によって生じた損害 	本制度では、公共工事の事故について、単価アップ追加費用等、補償が拡大！ 保険料 完成工事高1億円の場合※ 土木工事 234,000円 (免責金額150万円で計算しています。) 建築工事 57,000円 組立工事 114,000円 ※試算条件 第三者賠償とのセット割引適用	

公共工事遂行支援特約
公共工事を担う建設事業者を支援する本制度オリジナルの特約です。公共工事を対象とし、復旧費の算出方法を変更します。

本制度オリジナル!!

2. 魅力的なオプション

オプション 建設用工作車補償特約

工事現場に所在する間の、自社所有「建設用工作車※」の損害を補償！ ※登録・車両番号の指定を受けているものを除く

以下のような事故に対応します！

- 台風で自社保有のブルドーザーが水没して、修理を行うこととなった。
- 自社所有のショベルカーの操作を誤って横転し、本体の修理が必要になった。



建設業協会会員の皆さまのお声を反映した**割安・簡単・安心**な制度です！
何かお困りの際に安心！**建設業界専門の弁護士への無料法律相談**ができるサービスも。
お見積りはお気軽にご依頼ください！

